

「米10年物国債利回りチャートをチェック！」

米株価は金利上昇局面でも堅調に推移 （警戒必要？）

急激な円安の進行による日本企業への悪影響

でも・・・

円安恩恵銘柄は狙い目

3月期企業の第2四半期決算発表シーズン入り ✨



- ➡ 決算直後の動きは発表内容とリンクしないことが多い
- ➡ 株を保有して跨ぐのは長期投資以外はなるべく避ける
- ➡ 着実にいくなら決算スケジュールを頭に入れつつ
ポジションコントロール
- ➡ 保有株や監視銘柄の決算がいつなのかは必ずチェック
- ➡ 第2四半期発表時には増益率が大きい企業ほど
通期予想の上方修正を行う傾向あり



「円安が追い風になる企業に注目！」

① 日本光電工業(6849)

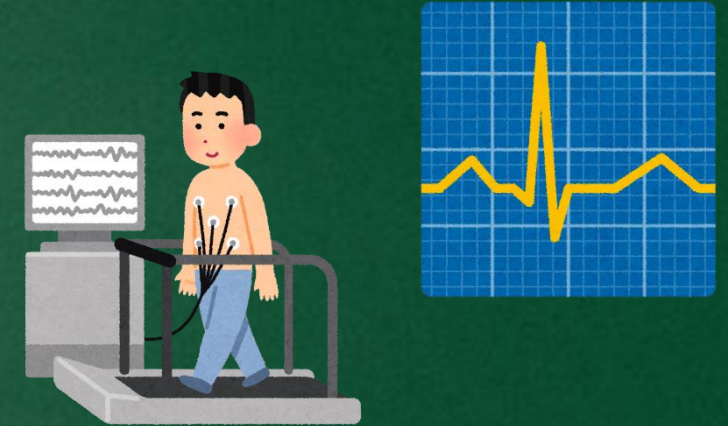
想定為替レート1ドル=117円

医療用電子機器メーカー

心電図等の生体情報モニタ、脳波計等の生体計測機器や

AEDなどの治療機器を取り扱う

23.3期1Qはその他商品が増収



② サンリオ (8136)

想定為替レート 1ドル=115円

直営店での物販中心からアパレルや量販店などに
商品化権を付与するモデルへ

海外からのライセンス収入で稼ぐ

サンリオピューロランド、ハーモニーランドなど
テーマパーク運営も



③ ジャムコ(7408)

想定為替レート 1ドル=115円

ギャレーやラバトリーなどの航空機内装品を製造・販売
次期ビジネスクラスシートの開発等に取り組む

炭素繊維構造部材、航空機エンジン部品は出荷増

23.3期1Qは黒字転換

海外売上比率が67%



そして…「**継続前提に重要事象**」

継続企業の前提に関する「重要事象等」や「注記」

経営学用語「ゴーイングコンサーン」

略して「GIC」コンサーンは懸念。



👉 条件確認は日本公認会計士協会

「継続企業の前提に関する開示について」

「継続企業の前提に関する重要事象等」

👉 解決する目処が立っている → 回復する見込みがある

「継続企業の前提に関する注記」

👉 解決する目処が立っていない



重要事情よりも経営悪化・倒産リスクが高い



「海外売上高比率の高い銘柄！」

① アシックス（7936）

👉 海外売上比率が約7割

競技用シューズやスポーツアパレル等を国内外で展開
今上期はランニングシューズが欧州や中華圏
豪州等で伸長8月に通期予想を上方修正



② 三信電気 (8150)

 海外売上比率は5割超

半導体・電子部品の専門商社

ICTインフラを提供するソリューション事業も

デバイス事業では電子部品が堅調。

家庭用ゲーム機向けも伸び、23.3期1Qは大幅増収増益



③ 竹内製作所（6432）

👉 海外売上高比率は9割超

建機中堅。小型建機に強み

国内で生産し海外中心に販売

為替の円安も追い風、通期計画を上方修正

米国の新規取得工場は年内稼働を見込む



年末相場は12月と思いがち…

第2四半期の決算発表以降から12月にかけて

年末相場は始まっている

12月中旬はすでに年末相場は終盤にさしかかっている

ロシアによるウクライナ侵攻から世界情勢は一変
相場を予測するのはとても難解

例年の相場とはまったく違った懸念をもって慎重に

